

# 平成30年度 第2回 古賀市文化財保護審議会

## 会 議 次 第

平成31年1月28日（月）  
10時00分から  
リーパスプラザこが歴史資料館  
研修室

### 1. 開会の言葉

### 2. 議事

#### （1）古賀市指定文化財に関する調査審議

案件：谷山の盆綱

### 3. その他

#### （1）平成30年度古賀市内文化財調査についての報告

・船原古墳調査について

#### （2）福岡県指定文化財「薬師如来板碑」の保存修理について

### 4. 閉会の言葉

## 2-(1)古賀市指定文化財に関する調査審議（案件：谷山の盆綱）

### 古賀市指定無形文化財の指定に伴う諮問内容の変更について

古賀市文化財保護条例（昭和58年条例第14号）第19条第3項の規定により、平成30年6月27日付 30古教文第236号にて古賀市文化財保護審議会へ諮問した市指定無形文化財の指定内容について、下記のとおり変更いたしますので報告します。

#### 記

#### 谷山の盆綱を古賀市指定無形文化財に指定することの変更について

変 更 前	変 更 後
<p>5. 沿革</p> <p>谷山区は古賀市の東部、犬鳴山麓に位置し、谷山川に沿って形成される塊状形態集落である。</p> <p>古賀市の谷山区で8月15日の夜におこなわれる盆綱は江戸時代ころより伝わり、現在も引き継がれている行事であり、昭和20年のいわゆる「玉音放送」により、広く国民にポツダム宣言の受諾と軍の降伏の決定を伝えた日にもおこなわれたそうである。</p> <p>盆綱は8月15日に近い休日に谷山八幡宮の境内で綱引き用の綱を綯うことから始まる。昭和10年ごろまでは山から子どもがカンネクス、青年団がフジカズラなどを取ってきてこれを綯い綱としていたようであるが、現在では稲藁となっており、<u>その年の世話役が用意することとなっている。</u>境内の大きなケヤキの二又になったところを使って「エイサー、エイサー」と掛け声をかけながら半日かけて綱を綯う。<u>直径20cm、長さ50m程の綯われた綱は鳥居をくぐらずに境内横から引き出され、綱引きを行う谷山集落の中心の通りへ運ばれる。</u></p> <p>かつては子どもたちが「こんやー、こんや</p>	<p>5. 沿革</p> <p>谷山区は古賀市の東部、犬鳴山麓に位置し、谷山川に沿って形成される塊状形態集落である。</p> <p>谷山区で8月15日の夜におこなわれる盆綱は江戸時代ころより伝わり、現在も引き継がれている行事であり、昭和20年のいわゆる「玉音放送」により、広く国民にポツダム宣言の受諾と軍の降伏の決定を伝えた日にもおこなわれたそうである。</p> <p>盆綱は8月15日に近い休日に谷山八幡宮の境内で綱を綯うことから始まる。昭和10年ごろまでは山から子どもがカンネクス、青年団がフジカズラなどを取ってきてこれを綯い綱としていたようであるが、現在では稲藁となっており、<u>地元で栽培・収穫したものを使用している。</u>境内の大きな木の二又になったところを使って「エイサー、エイサー」と掛け声をかけながら半日かけて綱を綯う。長さ50m程の綯われた綱は<u>一旦境内に置かれ、盆綱当日に引き出されて谷山集落の中心の通りへ運ばれる。</u></p> <p>かつては子どもたちが「こんやー、こんや、盆綱の加勢に来てくださいまっせー」と大きな声を張り上げて村中を練り歩いていたが、今は</p>

<p>一、盆綱の加勢に来てくださいまっせー」と大きな声を張り上げて村中を練り歩いていたが、今は有線放送などで集まってもらうようになっている。</p> <p><u>たそがれ時</u>、区長による寄せ太鼓が鳴り、祭りがいよいよ始まる。綱引きは地元消防団と子どもや大人たちに分かれ、消防団は通りの降り側、子どもたちは通りの昇り側に位置取り場所の交代を行わずに綱引きをおこなう。綱引きの審判でもある区長の打ち鳴らす太鼓の音を合図に綱引きが始まる。勝負は2勝1敗で子どもたちが勝つこととなっている。</p> <p>かつては綱の材料である藁も貴重品だったが、特別な綱であったため、誰も藁を持ち帰ることはしない。綱は<u>境内脇に輪積みして置く</u>こととなっている。</p> <p>祭りの<u>大願</u>は綱に触ると子どもが元気に育つ、無病息災、先祖の霊が綱に乗って浄土に帰る（仏さまが綱にのって帰られる）<u>などと言われているが、一番の目的は豊作祈願と考えられている（なお、谷山集落の上（山側）と下（海側）に墓地があり、その墓の橋渡しを綱引きでおこなうと説明される方もおられるが、いずれにしろ、本来の大願は不明とせざるを得ない）。</u></p>	<p>有線放送などで集まってもらうようになっている。</p> <p><u>20 時</u>、区長による寄せ太鼓が鳴り、祭りがいよいよ始まる。綱引きは地元消防団と子どもたちに分かれ、消防団は通りの降り側（下手）、子どもたちは通りの昇り側（上手）に位置取り場所の交代を行わずに綱引きをおこなう。綱引きの審判でもある区長の打ち鳴らす太鼓の音を合図に綱引きが始まる。勝負は2勝1敗で子どもたちが勝つこととなっている。</p> <p>かつては綱の材料である藁も貴重品だったが、特別な綱であったため、誰も藁を持ち帰ることはしない。綱は<u>境内の木の根元に巻き付けて置かれている。</u></p> <p>祭りの<u>願意</u>は、綱に触ると子どもが元気に育つ、無病息災、先祖の霊が綱に乗って浄土に帰る（仏さまが綱にのって帰られる）、<u>豊作祈願などと言われている（また、谷山集落の上（上手、山側）と下（下手、海側）に墓地があり、その墓の橋渡しを綱引きでおこなうと説明される方もおられる）。</u>しかしながら、本来の願意は不明とせざるを得ない。</p>
<p>6. 指定する理由</p> <p>盆綱はかつて市内各所において執り行われた行事であったと思われるが、<u>古賀市内では現在は谷山区においてのみ存続、継承されている伝統行事である。</u>勿論、今日に至るまで綱の素材等で内容が変質したものもあるが、戦時中そしてその後も断絶することなく受け継がれていてこのことも貴重である。</p> <p>以上のように、重要性に鑑み、無形民俗文化財として極めて貴重であることから指定候補としてあげるものである。</p>	<p>6. 指定する理由</p> <p>盆綱はかつて市内各所で行われた行事と思われるが、現在は谷山区にのみ存続、継承されている伝統行事である。勿論、今日に至るまで綱の素材等で内容が変質したものもあるが、戦時中そしてその後も断絶することなく受け継がれていて貴重である。なお、新しい要素ではあるが、綱緬いの技術等を継承しておりこのことも重要である。</p> <p>以上のように、重要性に鑑み、無形民俗文化財として極めて貴重であることから指定候補としてあげるものである。</p>

## 谷山の盆綱に関する調査結果まとめ（平成 30 年調査）

### 1. 綱緋について

#### （1）稲藁の入手方法について

谷山区に農家が数十軒あった頃は 1 軒に 5 把の稲藁を割当てていたが、次第に農家が減り、谷山区だけで調達することが困難となった。隣の小山田区等にもお願いしていた時期はあったが、2012 年に谷山区の有志により「語り隊」（現在は 40～60 歳代の男性十数名で構成）が結成され、同グループにより現在まで耕作・収穫が行われている。谷山区にお住まいの方の田（約 1 反）を借り、綱引き用の藁を確保するためもち米を作っている。

なお、普通しめ縄用などに育てる稲は実をつけさせず青田刈することが多いが、谷山の盆綱用の稲は実を付けて収穫する。もち米は 700 kg ほど収穫され、もち米としてあるいは餅にして販売し、「語り隊」の活動資金としている。

#### （2）綱引き用の稲刈りの方法とその後の保管について

綱引き用の稲はバインダー（稲を根元から刈り倒すコンバイン）で刈り取る。刈り取った後は脱穀し、米を外した状態の稲藁を田近くのガードレールに掛けて 2～3 日干す。

綱に使う稲藁は前年に育てたもので、干した後は役員の納屋で保管する。

#### （3）綱緋の日取りについて

3 年前までは盆綱の当日、8 月 15 日の午前中に行っていたが、会社勤めの人が多くなり 15 日に参加できる人が少なくなったため、一昨年（平成 28 年）から、8 月 11 日から 15 日までの日曜日の午前中に行うこととしている（平成 28 年は 14 日（日）、平成 29 年は 13 日（日）、平成 30 年は 12 日（日）に実施）。この間に日曜日がない場合は 8 月 11 日の祝日に行うこととしている。

#### （4）綱を緋うまでの作業について

①保管していた稲藁を八幡宮へ運び、葉や短い藁など緋うのに余計なものを取り除くため脱穀機で梳く。梳く作業自体は大人（男性）が 2 名ほどで行うが、稲藁を渡したり梳いた後の稲藁を積んだり取り除かれた葉などを掃いて集める作業は子どもたちも行う。なお、取り除かれた葉や藁かすはみかん農家の肥料にする。

②梳く作業が終わった稲藁は束にしてビニール紐で結び水につける。水につけるのは藁を締めて綱を緋いやすくするためで、つけるのは一瞬でよい。水につけた後は次の作業を行うところまで水を滴らせながら運ぶ。この作業は主に子どもたちが行っている。

③水につけた稲藁の紐をほどき、さらに細い束にして稲藁で結ぶ。この作業は大人（主に女性、男性も手伝う）とある程度大きくなった子どもが行っていた。

④小分けにして束ねた稲藁を、綱を緋う場所に運ぶ。この作業は主に子どもたちがおこなっている。

#### （5）稲藁を梳くための道具について

現在も昔から使っている足踏み脱穀機（マッモト式新アサヒ號）にモーターを取り付けて

使っていた。

#### (6) 綱緋について

綱緋は、八幡宮境内の大きな木を使う。木の股部分に横木を架けて固定し準備は整う。

綱緋は消防団の青年を中心として行われる。木に登り横木を架けた場所で綱を引き上げる役が1名、木の根元で綱を支える役が1名、綱を緋う役が3名、計5名で行われる。綱は3つの藁束からなり、それぞれの束を1名が持ちねじり合わせて緋っていく。

綱を緋う役は束ねられた稲藁を右にねじりながら藁束を継ぎ足していく。一定程度の長さを得たら3つの藁束をねじり合わせる工程へ進む。緋う役は「セーノ」の掛け声の後、それぞれ藁束を手前に3回引き、その後左隣の人に自分の藁束を渡し、同時に右隣の人から藁束を受け取る。その後、1回引いては隣へ渡し、1回引いては渡すという動作を繰り返すが、この藁束を隣に渡す動作の回数は特に決まっていない。藁束を引くときは「オイサー」「エイサー」などの掛け声をかける。このように綱緋は稲藁をねじりながら藁束を継ぎ足し、3つの藁束をねじり合わせ緋う作業を繰り返す。緋う役は数回で交代し、その他の役も適宜交代する。

緋った綱が長くなったら鳥居の方向へ伸ばしていく。また、綱を引きやすくするため、飛び出した藁を根切鋏でカットする。

綱が鳥居に届くほどの長さになったら、細い縄を綱の真ん中に入れて緋っていく。また、継ぎ足す藁束を徐々に細くし、綱自体も細く仕上げていく。真ん中に入れた縄で綱の端を結び留めて綱は完成する。綱は緋い始めが太く、緋い終わりは細くなっている。なお、綱の緋い始めの部分にお酒とお塩を振りお清めをする。

綱の長さは42～43m。かつては別の木を使っていたため公民館近くまでの長さだったが、その木が枯れたため現在の木を使うこととなり、鳥居あたりまで緋うこととしたようだ。

#### (7) 綱の保管場所について

綱引き本番まで綱は八幡宮の境内に置かれる。綱は緋い始めと緋い終わりを鳥居側に向けて二つ折りにしたような形で置かれていた。昨年は綱が雨等に濡れないよう防水シートを掛けたが、カビが発生したようで、毎年試行錯誤しているようである。平成30年はシートを掛けなかったが降雨に見舞われたにもかかわらずカビなどは発生していなかった。

## 2. 綱引きについて（ちなみに平成30年は“約”第178回盆綱とのことであった）

#### (1) 八幡宮からの綱の引き出し方法について

現在は鳥居をくぐって綱を引き出していた。昔は鳥居をくぐっていなかったことがあったが、それは引っ張っていく距離が少し短くなるからだったという説明であった。

綱は緋い始め（太い方）が下手（海側）、緋い終わり（細い方）が上手（山側）になるように置く（盆綱の意味のひとつにお盆に帰ってきたご先祖を送るというものがあるため、下手から上手に送るという意味で緋い始めを下手に、緋い終わりを上手にすると説明される）。

#### (2) 人員の配置について

上手に子どもたちが、下手に消防団の青年たちがつく。なお、子ども側が2勝することになっているので綱は上手により多く引かれることになる（この点も下手から上手にご先祖を送るという意義付けをされる）。

### （3）勝ち負けの判断について

勝ちの判断は綱の真ん中にはちまきなどで印を付けてそれが引かれた方が勝ちとなる。

子ども側が2勝、青年側が1勝というのは決まっているが、勝敗の順序については決まっていないうだ。

平成30年の勝敗の順番は、第1戦：青年側の勝ち、第2戦：子ども側の勝ち、第3戦：子ども側の勝ち、であった。

### （4）勝負の間に何か行われるかについて

勝負と勝負の間には小休止がとられるくらいで特別なことは行わない。勝負の最中に引き手に疲れがみえるときや演出のために区長判断で休憩が取られることがあった。

なお、平成30年からの新たな試みとして、綱引きの前に宮司による清めの太鼓が行われた（宮司は谷山在住で、近年福岡県神社庁にて太鼓打ちの資格を取得されたそうで、自宅で練習しているところ今回の太鼓をと声を掛けられたとのこと）。

### （5）綱引きと精霊送りとの関係について

綱引きは15日の20時から20時半頃まで行われる。各家庭では特別精霊送りのようなことはしないため綱引きがその代わりなのだという方もいれば、家で精霊送りをするが、初盆で戻ってきた方はこの世に未練があるので、家庭で送った後さらに盆綱で送るのだという方もいる。

## 3. 綱のその後

### （1）綱引きが終わった後の綱について

綱は八幡宮境内の木の根元に巻いて置かれる。およそ1年で形が崩れるくらいに腐朽し、盆綱の頃には前年の綱が多少原型を留めた状態が残っていた。

なお、綱にさわると無病息災の御利益があるといい、綱引き後に触ることが促されていた。

## 4. その他

### （1）谷山の盆綱の発信について

地元の方により、2015年6月24日にYouTube上で谷山の盆綱引きの動画が公開されている。動画は2002年8月15日に撮影されたものである。

### 3-(1) 平成30年度古賀市内文化財調査についての報告

#### 発掘調査等補助事業

##### ●概要報告書作成

平成29年度までの調査成果を中心とした内容      3月31日刊行予定

##### ●出土遺物整理

出土遺物のクリーニング・接合等の作業180点      3月中旬に完了する予定

出土遺物の実測作業200点      現状：96点実施

遺物出土状況の三次元データ作成      3月中旬に完了する予定

#### 地域の特徴ある埋蔵文化財活用補助事業

##### ●パンフレット作成

馬冑、忍冬唐草文心葉形鏡板付轡、円形鏡板付轡について作成

3月刊行予定

##### ●パネル展

平成28年度の調査成果のパネル解説

古賀市立歴史資料館      7月4日～12月27日

市役所2階市民ホール      7月11日～7月23日

遠賀信用組合ギャラリーふれあい      7月26日～8月7日

アクロス福岡コミュニケーションエリアホワイエ      10月15日～10月21日

##### ●講演会

古賀市立歴史資料館が主催する「自然史・歴史講座」

平成30年5月13日（日） 13:30～15:30

「船原古墳最新情報2018,.....,今明かされる豪華馬具の高度な技術力～」

小林啓（九朴I歴史資料館学芸調査室）

「古代馬の模型作成について」

甲斐孝司（古賀市教育委員会文化課）

##### ●出土遺物復元画像作成

資料館の来館者がパソコン等で遺物を360° 様々な角度から見ることができる

デジタル詳細解析の復元CG画像を作成

対象：忍冬唐草文心葉形鏡板付轡、ガラス装飾付金銅製辻金具、円形鏡板付轡

### 3-(2) 福岡県指定文化財「薬師如来板碑」の保存修理について

#### 1. 概要

名称「阿弥陀如来像板碑 付薬師如来板碑」、昭和 33 年 11 月 13 日に福岡県指定有形文化財考古資料（考 33 号）となった文化財である。

「薬師如来板碑」は福岡県古賀市筵内 1384 番地の 5、蛸ヶ丘団地内に安置される。

薬師如来像と伝えられているもので、玄武岩の自然石に筋彫りされており、高さ 132cm、最大幅 146cm、厚さ 13cm の板状の石に、如来形の坐像に頭光、身光が二重に刻まれている。板碑の両側に銘があるが、磨滅が著しい。

#### 2. 由緒等

熊野神社の阿弥陀如来像板碑には「大勸進沙弥成仏彫手僧長命 右志為真覺並法界衆生往生極楽 建長七年（1255）乙卯二月十五日彼岸中」と彫られている。

薬師如来板碑については、建碑の概要は不明な点があるが、阿弥陀如来像板碑と同型・同材の石碑であることと「□年□□十五□彫手長弁」の銘があることから同時期頃の作と想定される。作者は現在のところ不明であるが「彫手長弁」の銘が見える。仏像線刻（図像という）の板碑としては大変古く貴重なものであり、強い仏教的基盤があったことが想定されている。

伝承によると、むかし筵内に疫病が大流行し、これを封じるために三基の板碑が一組となって大根川近くに建てられていたのが、大根川の氾濫によって流され、分散したという。その三基のうち二基が、阿弥陀如来像板碑と薬師如来板碑であり、分散後にそれぞれ熊野神社境内、蛸ヶ丘団地へ遷されたとされる。また、「薬師如来板碑」は眼病治癒の靈験もあったとされ、その建てられている土地の名の由来「孫目（マゴメ）」と結びつき、「孫目の薬師石仏」とも称されたという。

#### 3. 保存修理について

薬師如来板碑は、像容及び銘の細かな表現箇所を含め表面の摩耗が進み、また板碑表面の石材の浮き及び剥落が進行しており修復が必要となっている。

なお、現状は薬師如来の像が傾いた状態で設置されているため、処理後に像が正位になるように据え直しを行う予定としている。

また、平成 30 年度に「薬師如来板碑」を保護している覆屋の壁や屋根に亀裂が認められ、倒壊の危険があることから覆屋の補強工事も行うこととしている。補強工事と併せ、現状、板碑に対して遮光等が不十分であるため、袖壁や軒等を設置する予定である（覆屋のモニタリングを現在実施中）。



福岡県指定文化財「薬師如来板碑」の現況写真



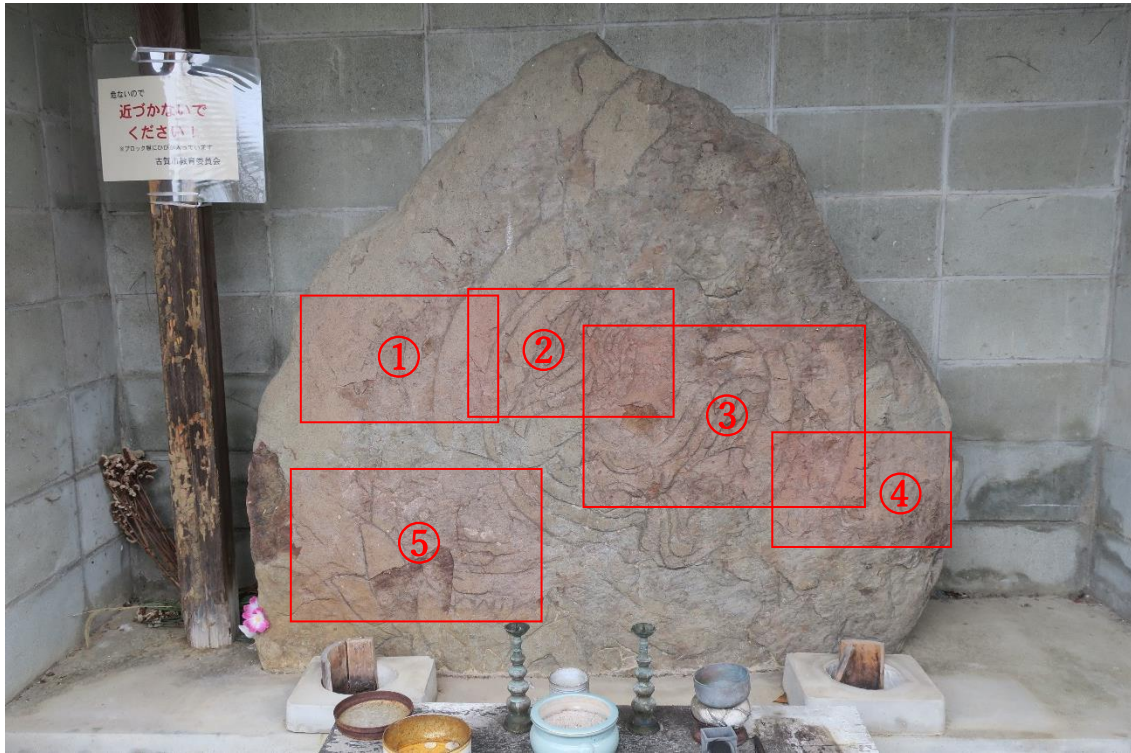
全体アングル①



全体アングル②



修復必要箇所



修復部分①





修復部分②



修復部分③





修復部分④



修復部分⑤



覆屋の現況写真



覆屋全景



左側壁のひび割れ



右側壁のひび割れ